



## 空き家の対策を 専門家に相談



2月12日、リナシティかのやで「空き家に関するセミナー&個別相談会」を開催しました。セミナーでは、鹿児島県のNPO法人結の夢来人・絆プロジェクトの有馬法久理事長が空き家の現状に関する説明や住まいの終活・家財処分などについて講演。その後、相続やリフォーム、解体などの各種専門家による相談窓口が設けられ、多くの人たちが相談を行っていました。

## 異業種の交流会で 活気あふれる



2月9日、ホテルさつき苑(西原1丁目)で「食・農ビジネスかのや未来フォーラム」が行われました。これは、市内事業者の異業種交流と、食関連産業の活性化を図ることを目的に初開催されたイベント。会では地域資源を活用した商品開発に関する講演のほか、市の食材を使ったメニューの試食会も行われ、参加した約150人は新たな事業展開や商品開発に向けて異業種間の交流を深めました。

## DV被害を加害者 からアプローチ



2月18日、リナシティかのやで「DV加害者更生プログラム」に関するセミナーが行われました。これは、DV被害者支援の会アミーチが実施したもので、臨床心理士の佐々木浩介氏がDV加害者への教育(更生)プログラムの意義や、加害者の認知・感情・行動を変えるためのプログラムについて紹介。参加者は、加害者側に目を向けた支援のあり方について注意深く聴いていました。

## 防災への課題を 大阪大学生が提言



2月13日、大阪大学の学生による防災意識調査の報告会が行われました。これは、学生が2年間に渡って本市での防災に関する取り組みについて調査してきたことを報告したもの。報告会には、フィールドワークで共に活動を行った新川町と高須町の町内会長なども出席し、調査や活動を通じて感じたことや、課題解決のためのアイデアに参加者は真剣に耳を傾けていました。



## 子どもの未来と平和 を願い花火咲く

2月11日、西原地区の子どもの明るい未来と平和を祈念し、西原運動公園で花火大会が行われました。これは鹿屋西部商工同友会が企画・実施したもので、大きな花火が上がるたびに来場者からは歓声が上がりました。



## 税金に関心を 小学校で租税授業

2月9日、寿北小学校で鹿屋肝属法人会青年部による租税教室が行われました。同会による租税教室は、市内の各学校で行われており今年5回目。参加した6年生は、税金の仕組みを学んだあと、税金の使い方を真剣に議論しました。



## 千葉で開催される全国大会に 県選抜として出場

2月7日、大隅レッドエンジェルの白川詩乃選手(第一鹿屋中2年)と吉崎はる選手(吾平中1年)が市役所を訪れました。2人は県選抜選手として「第19回都道府県対抗全日本中学生女子ソフトボール大会」に出場します。